

信頼のおける病院づくりにスタッフ一丸となり

阿蘇中央病院の再生を 考える会を発足

副院長外科医 滝野史朗



阿蘇中央病院は、昭和25年黒川村立病院として開院し、昭和29年昭和の大合併で阿蘇町となり、町立阿蘇中央病院となりました。

以来、昭和39年には外来棟を、昭和56年には病棟をそれぞれ建て替え今日まで参りましたが、このたびの平成17年市町村合併により阿蘇市立阿蘇中央病院となって現在に至っております。

外来棟は築40年以上、病棟は築24年と、皆様よくご存知のとおり、病院の老朽化が進んでおり、病院新築移転の計画も以前よりたびたび取りざたされてまいりましたが、近年、病院経営の困難さが身に迫ってきており、阿蘇中央病院においてもその対策を余儀なくされてきております。

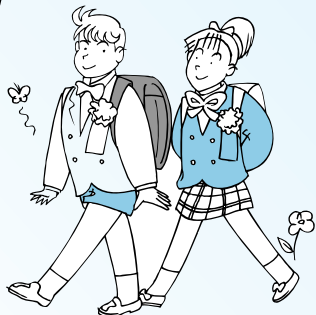
遅ればせながら、阿蘇中央病院を阿蘇市民の皆様の信頼に足りる病院にするためには何をなすべきか真剣に考えなければなりません。建物を新しくしただけでは、市民の皆様の信頼に足る病院となるとは到底考えられません。

わたしが阿蘇中央病院に赴任して早十年が過ぎましたが、多くの患者さんが市内の大病院での治療を希望され紹介し、幾度となく悔しい思いをしました。また、当院

は素通りし直接市内の大病院での治療を望まれる方が多数居られることもよく知っております。何故そのような患者さんたちにとって阿蘇中央病院が信頼に値しないのかよく考えなければなりません。そのため、病院の再生を行い、信頼に足る病院づくりをするため、今回、『阿蘇中央病院再生を考える会』を発足いたしました。

病院に一步足を踏み入れてから帰られるまで気持ちのいい病院づくり、医師・看護師・医療スタッフなど病院職員全体の技術向上は当然として、患者さんを診察・治療する医療人としての人間性のレベルアップが必要ではないかと考えます。いつ来ても気持ちのいい病院づくり、安心して治療を任せられるレベルの高い医療をめざして、今後、阿蘇市民の皆さまの意見を聞く機会をもうけ、市民の皆さまをはじめ、阿蘇市長・市議会・市役所の皆さまと話し合いながら病院再生を目指し、スタッフ一同がんばる所存でありますので、何卒皆さまのお力をお貸しいただきますよう、よろしくお願いいたします。

阿蘇市小中学校登下校 安全確保ボランティア協力員 を募集します



阿蘇市教育委員会では児童生徒の登下校時の安全確保にご協力いただける方々を募集しています。内容は、ご都合の良い時に指定のタスキをかけ、小中学生が登下校する時間帯に、見守りが必要と思われる場所に立ち、登下校を見守っていただくものです。

すでに93名の方々がこの協力員に応募いただき、阿蘇市の各地で、安心して登下校できる環境づくりのため活動されています。

詳細な内容につきましては、教育委員会学務課、又は各支所の教育分室までお尋ねください。

すでにお申し込みいただいている方々は、今回 お申し込みの必要はありません。

お申し込みとお問い合わせ

阿蘇市教育委員会学務課	22 - 3229
内牧支所教育分室	32 - 1111
波野支所教育分室	24 - 2001